

サービス業

業況、売上、採算

今期（2019.4～6）の業況判断DIは19.3で、前年同期（2018.4～6）と比べ8.3ポイント低下しました。

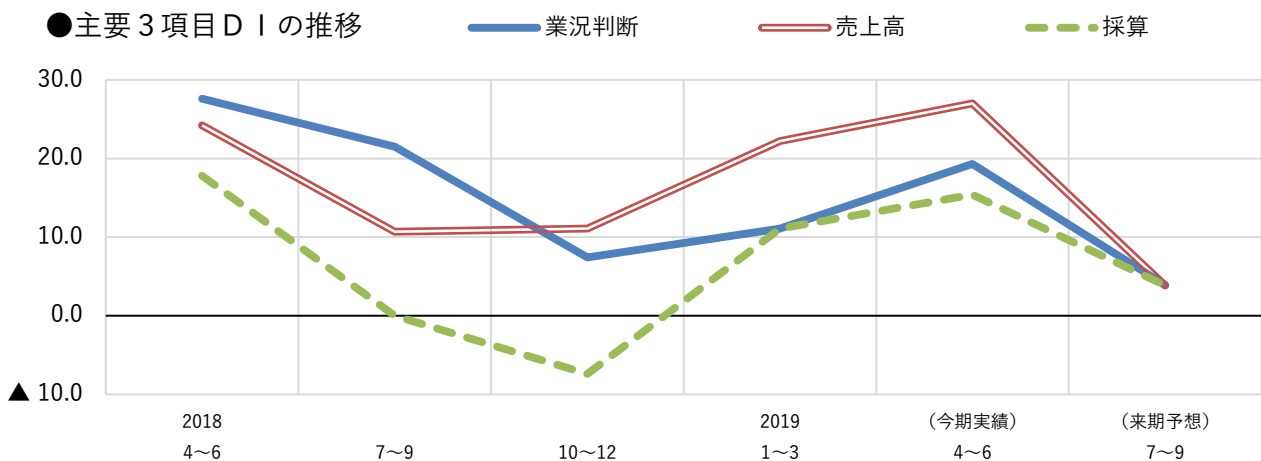
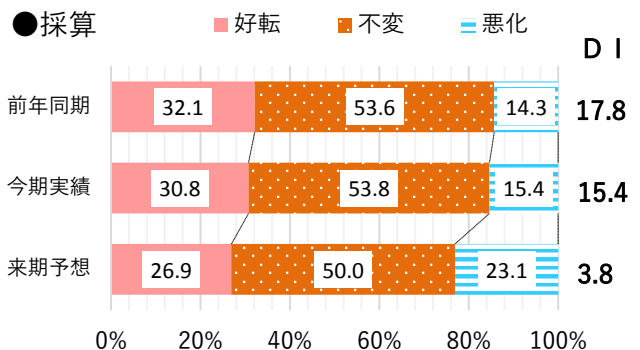
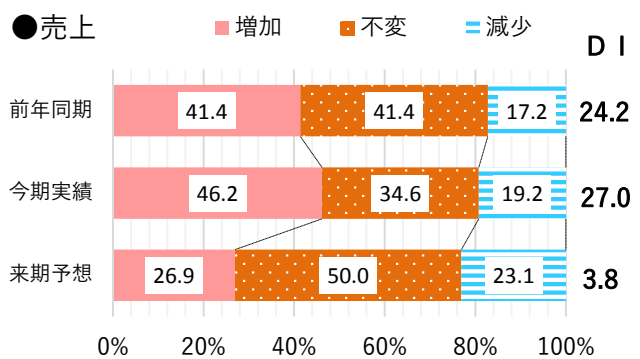
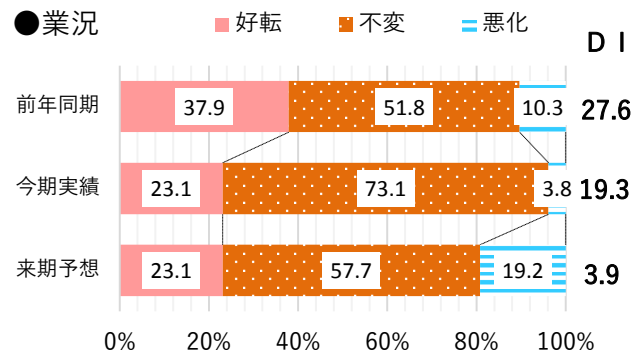
来期（2019.7～9）は、今期と比べ業況の好転傾向が弱まると予想しています。

今期の売上高DIは27.0で、前年同期と比べ2.8ポイント上昇しました。

来期は、今期と比べ売上の増加傾向が大きく弱まると予想しています。

今期の採算DIは15.4で、前年同期と比べ2.4ポイント低下しました。

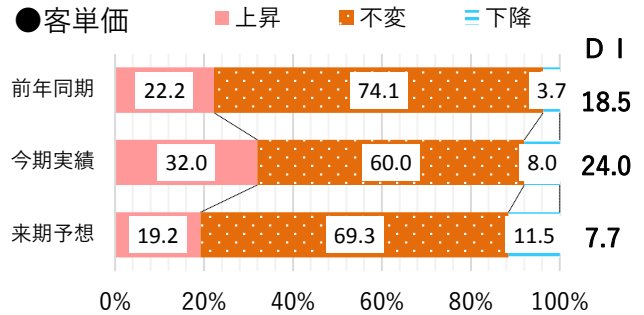
来期は、今期と比べ採算の好転傾向が弱まると予想しています。



客単価、利用客数、仕入単価

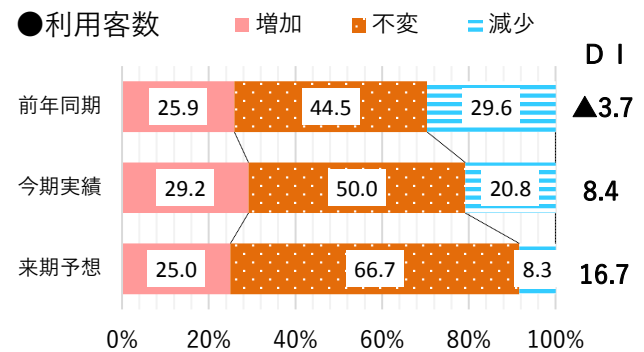
今期の客単価DIは24.0で、前年同期と比べ5.5ポイント上昇しました。

来期は、今期と比べ客単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



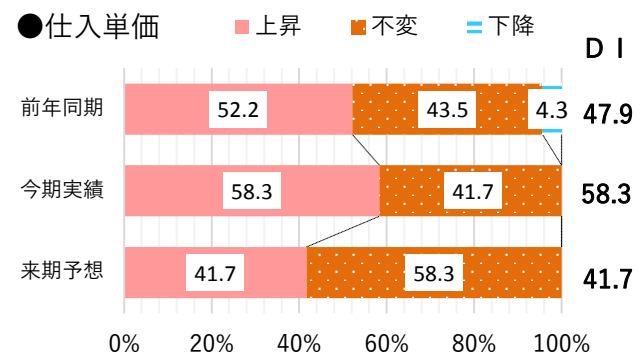
今期の利用客数DIは8.4で、前年同期と比べ12.1ポイント上昇しました。

来期は、今期と比べ落ち着いた動きが出るものの、利用客数の増加傾向が続くと予想しています。



今期の仕入単価DIは58.3で、前年同期と比べ10.4ポイント上昇しました。

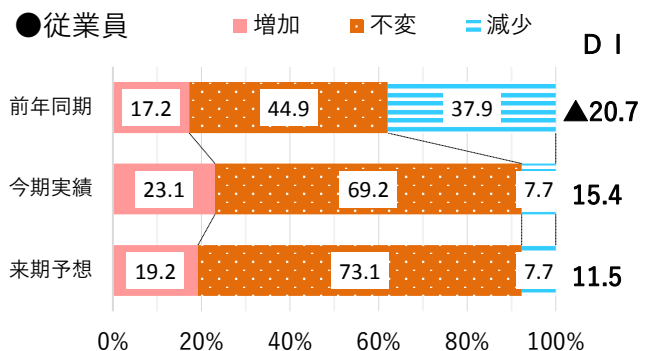
来期は、今期と比べ落ち着いた動きが出るものの、仕入単価の上昇傾向が続くと予想しています。



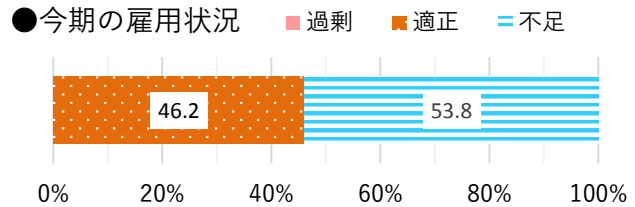
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは15.4で、前年同期と比べ36.1ポイント上昇しました。

来期は、今期と比べ落ち着いた動きが出るものの、従業員数の増加傾向が続くと予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は46.2%、不足していると回答した企業の割合は53.8%でした。



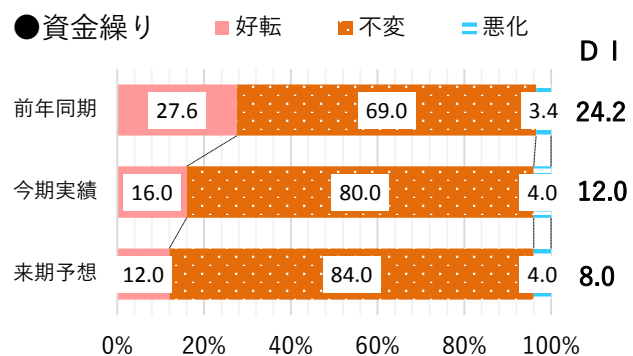
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」、「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」（同位）という回答で、サービス業全体の34.6%を占めています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	3
	不足	3
不変だった	過剰	0
	適正	9
	不足	9
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	2

次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で増加し、充足している」、「従業員数は前年同期比で増加し、不足している」という回答でした。

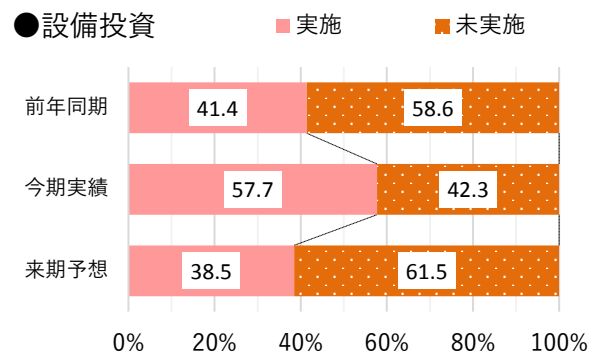
資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは12.0で、前年同期と比べ12.2ポイント低下しました。



来期は、今期と比べ資金繰りに大きな変化はないと予想しています。

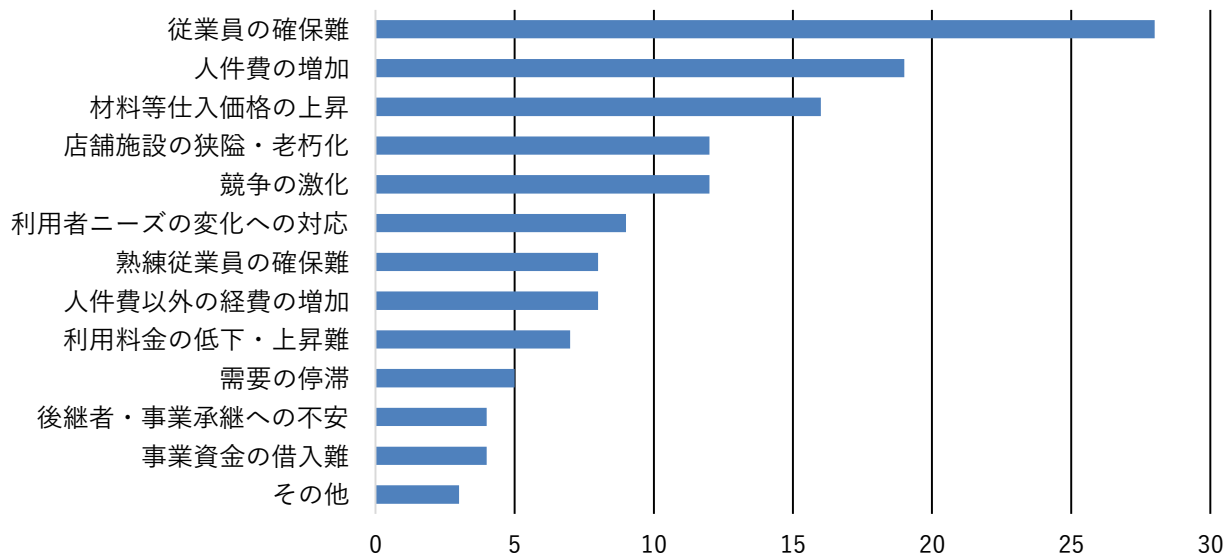
設備投資を実施した企業の割合は57.7%で、前年同期と比べ16.3%増加しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」、2位が「付帯施設」、「O A 機器」の順です。



来期に設備投資を計画している企業の割合は38.5%で、今期と比べ減少すると予想しています。

経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「人件費の増加」、3位が「材料等仕入価格の上昇」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 昨年はメディアで取り上げられ、忙しかった。今年は売上が減少したが、連休後の落ち込みは小さかった。観光客の下支えと、飲食店等、観光関連業種の開業がプラスに作用した。（飲食店）
- 仕入価格の上昇により、経常利益が若干悪化した。（飲食店）
- 人材確保難と、最低賃金の上昇が、大きな負担になっている。（ビルメンテナンス）
- 保険業界の税の取り扱い変更により、法人契約が前倒しとなったため、今期に契約が集中した。（保険業）
- より良い商品を仕入れると単価が上がってしまうので、仕入価格は上がってしまう。次回来店に繋げるためのアプローチ、提案を通じて、利用客数の安定を図っている。従業員は不足している。（美容業）
- 先行受注が好調だった。また、連休があったため、海外旅行等が好調だった。（旅行代理店）
- 新入社員採用時に最低賃金が増した。従業員のスキルアップが課題である。（廃棄物処理業）
- 利用客が増えている。働き方改革にも取り組んでいる。（保健衛生業）
- 支店間の業績差はあったが、全社平均では昨年同期比で不変であった。（教養・技能教授業）
- 天候に恵まれ、売上が増加した。採用は、季節雇用者や高齢者が多いため、安定せず、長続きしていない。（スポーツ施設）
- 主な売上が学校行事等の撮影のため、今期は安定していた。人材確保に苦労している。（写真業）

[来期の業況について]

- 夏の観光シーズンが到来し、本州や海外からの来客が増え、売上は増加する見込みである。旅行会社からの団体客が増加傾向にあるため、この傾向が続くと思われる。（飲食店）
- 残土処分場閉場に伴う売上減少が予想される。（廃棄物処理業）
- 先行受注が好調に推移しているため、好調を見込んでいる。（旅行代理店）
- 従業員が働きやすい環境を作れるよう、取り組んでいきたい。（保健衛生業）
- 増税前の駆け込み需要を見込んで、営業戦略を立てる。（教養・技能教授業）
- 夏のイベントがあると予約が増えるので、必然的に売上、客数もアップする見込みである。（美容業）
- 売上が落ち着くため、新たな顧客を開拓したい。（教養・技能教授業）